

今後のオミクロン株対応に向けた感染対策に伴う市長メッセージ

新型コロナの感染者数が再び増加しています。

本市でも、10月には800人台と減少傾向でしたが、11月には2,453人と増加に転じ、12月2日現在、前週の1.3倍と、更に増加が加速しています。

こうした中、広島県では、重症化する割合が低いオミクロン株の感染拡大の状況下においては、社会経済活動を維持しながら、高齢者等を守ることに重点を置いた対策を講じるという方針を示し、これに合わせ、高齢者や基礎疾患のある方等の重症化リスクの高い人を守るため、入院できる病床の確保にも取り組まれています。

本市においても、市民生活や経済活動を維持しつつ、できるだけ感染拡大を抑え、市民の皆さまの暮らしを守っていくことが必要です。

これから年末年始を迎えるにあたり、「医療のひっ迫や非常事態」を避けるため、感染拡大をできるだけ抑えられるよう、次の4つの対策について、市民一人ひとりのご協力をお願いします。

- ① 基本的な感染対策の徹底をしてください。
マスクの着用、手洗い、十分な換気、三密は一つでも回避
- ② 感染の不安があれば、積極的に検査を受け、発熱などの症状がある場合は、速やかに受診してください。
- ③ あらかじめ新型コロナ抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬を常備し、検査キットによる自己検査で陽性となった場合は、県の「陽性者登録センター」に登録し、速やかな療養を開始してください。
- ④ 12月27日まで集団接種を実施していますので、感染が拡大する前に積極的な新型コロナワクチン接種をご検討ください。
また、1・2回目未接種者は、年内に従来株ワクチンを接種しましょう。

令和4年12月2日

三原市長 岡田 吉弘